



創価大学

Discover your potential
自分力の発見



SEASON

2026 SPRING No.73



写真：桜と中央教育棟

ISSN 1349-3760

2 新年度 図書館長挨拶

4 図書館 館内ツアー 5選

7 ミニコーナー 図書館のとある日常
中央図書館 最近の企画展示

8 図書館掲示板



新年度 図書館長挨拶



文学部 伊藤 貴雄 教授

図書館そぞろ歩き

入口をくぐる。静けさが身に寄ってくる。人の気配はあるが、声はあまり聞こえない。ここでは時間の流れが違っている。

書架のあいだへ足を向ける。右へ、左へ、また一步。ふと立ち止まる。背表紙が並ぶ。一つひとつが、かすかにこちらに呼びかけている。

棚の前で足を止める。見慣れた名前があり、知らぬ名前もある。手を伸ばす先に、文字が重なり合う。一冊を取り出し、数行読む。すぐに戻す。また別の棚へ移る。

上へ、下へ、奥へ、手前へ。歩みは思わぬ方へ向かう。いつの間にか、最初の目的は遠のいている。だが不安はない。何かに導かれているかのように。

自分で選んでいるのか、それとも選ばれているのか、わからない。読んでいるのか、読まれているのか。境界が、ふと揺らぐ。

人は日常、効率よく、求めるものを探す。欲しいものだけを取り出し、満足する。あるいは、誰かの手の上で探している。自分の満足が、誰かの計画であるとも気づかずに。

図書館は不便な場所である。目的にたどり着くまでに、いくつもの棚を通り過ぎる。関

係のないはずのものに目を奪われる。思わぬ方に足を踏み入れてしまう。時間はかかる。

その回り道のなかで思考がひらかれる。世界を受け取りながら、自分なりに結び直し、意味づけていく営みがはじまる。

しばらく歩いたのち、椅子に腰かける。周りには、本に向かう者、ノートを広げる者、ただ静かに座っている者がいる。それぞれが、誰に見られるでもなく、自分の時間を過ごしている。考えるという営みが、ふたたび自分の手に戻ってくる。

やがて館を出る。何を得たのか、まだ言葉にはできない。だが、来たときとは、どこか違っている。視界がわずかにひらけ、思考の中に小さな余白が生まれている。

図書館とは、そうした場所である。何かを探しに来て、別の何かに出会い、そして少しだけ変わって帰る。何かが静かに、確かに、内へと働きかける。

目的がなくともよい。ただ、めぐってみよう。思いがけない出会いが待っているかもしれない。それは、気づかなかった自分の発見につながる。

Wandering through the Library *Takao Ito*

I step through the entrance.
A hush gathers around me.
There are people here,
yet almost no voices.
Time moves differently in this place.

I drift between the shelves.
Right, then left, then another step.
I pause without meaning to.
Spines line up before me,
each one quietly calling to me.

I stop in front of a shelf.
There are familiar names,
and names I have never seen.
Beyond my reaching hand,
the words overlap in layers.
I pull out a book and read a few
lines.
I put it back.
Then I wander on to another shelf.

Upward, downward, deeper in, and
to the front.
My steps turn in directions I never
planned.
Before I know it,
my original purpose has slipped
away.

But I feel no unease.
It is as if something is quietly guid-
ing me.

I cannot tell
whether I am choosing, or being
chosen.

Whether I am reading, or being read.
For a moment, the boundary blurs.

In daily life, we search efficiently for
what we want.

We take only what we came for and
feel satisfied.

Or perhaps we search within the
confines of someone else's design,
never noticing that our satisfaction
was part of their design.

A library is an inconvenient place.
To reach what you seek,
you must pass countless shelves.
Your eyes are caught by things that
should have nothing to do with your
purpose.
Your feet stray into unexpected
corners.

It takes time.

Yet from these detours, thought be-
gins to open.

As you take in the world around you,
you start to weave it back together
in your own way, and meaning be-
gins to form.

After wandering for a while, I sit
down.

Around me are people bent over
books, people spreading out note-
books, people simply sitting in still-
ness.

Each one inhabits their own time,

unobserved by anyone.
The act of thinking returns, quietly,
to my own hands.

Eventually, I leave the building.

I cannot yet put into words what I
have gained.

But something is different from
when I arrived.

My vision feels a little wider,
and a small clearing has opened in
my thoughts.

That is what a library is.

You come searching for something,
encounter something else entirely,
and go home changed—just a little.
Something begins to move within
us, gently but surely.

You need no purpose.

Simply wander.

An unexpected encounter may be
waiting.

And it may lead you to a part of
yourself you had never noticed be-
fore.

館内ツアーへようこそ！

創価大学中央図書館の館内を、1階から順にめぐる紙面ツアーです。フロアごとに異なる役割や雰囲気があり、学習や研究はもちろん、息抜きにも利用できます。

よく利用している場所でも、改めて見てみると新しい発見があるかもしれません。

それでは、図書館の中を一緒に歩いてみましょう。



ラーニング・commons



1階 書架



1 1階閲覧室

貸出や返却のほか、図書館の使い方についてのご相談や各種手続きに対応するサービスカウンターがあります。また、ラーニング・commonsとして、ゼミでの学習などグループでディスカッションしながら学べるスペースがあります。さらに、授業などに利用されるガイダンスルームもあり、多くの方が最初に訪れるフロアです。

ピックアップ

各種試験図書をはじめ、視聴覚資料や学術雑誌などがそろっています。英語の多読図書（リーダーズ）など語学学習に必要な資料も充実しているフロアです。図書館を利用する際のスタート地点として、多くの学生が行き交います。



START 館内ツアー Library 5選 Tour



ブラウジングルーム

2階 閲覧室

2 2階閲覧室

上の階へは、階段またはエレベーターをご利用いただけます。

2階閲覧室には、社会科学関係図書、新書、児童図書などが並んでいます。幅広い分野の資料がそろっており、興味のあるテーマの本を自由に探すことができます。

ピックアップ①

2階には、くつろぎながら資料に親しめるブラウジングルームがあります。CDの試聴機や教養雑誌を備えているほか、自動販売機も設置されており、ちょっとした休憩にもご利用いただけます。

授業の合間に自由に立ち寄り、気分転換に雑誌を手にとったり、思い思いにリラックスした時間を過ごせる空間です。



SBW 推薦図書コーナー

ピックアップ②

2階廊下には、創価大学・創価女子短期大学の学生の熱意から始まった全学読書運動「Soka Book Wave」の推薦図書コーナーがあります。



3 3階閲覧室

人文・自然科学系の図書をはじめ、大型図書や気軽に読める文庫コーナーなど、さまざまな資料を取りそろえています。研究やレポート作成に必要な資料探しにも活用されているフロアです。

また、3階は静寂ルームに指定されており、落ち着いた環境の中で、じっくりと学習や読書に取り組みたい方におすすめの空間です。

ピックアップ

2008年4月には「創始者著作コレクション展示室」が設けられ、創始者に関する貴重な著作や資料を紹介しています。展示室内の資料は、室内のみで閲覧が可能です。貸出はできませんのでご注意ください。



創始者著作コレクション展示室



3階 閲覧室





視聴覚コーナー

中国館

4 4階閲覧室

高い天井が特徴の、開放感あふれる閲覧室が広がっています。ゆったりとした空間の中で落ち着いて学習できる環境が整っており、多くの学生がそれぞれのペースで勉強に取り組んでいます。

このフロアには、複数人で話し合いながら学習できるグループ学習室や、中国政府から寄贈された約2000冊からなる「中国館」、DVDを視聴することのできる「視聴覚コーナー」、そして静かに集中したいときに利用できる個人閲覧室もあります。用途や学習スタイルに合わせて環境を選べるのも魅力のひとつです。

図書館ならではの落ち着いた雰囲気の中で、それぞれの学びの時間をゆったりと過ごすことができます。



池田文庫

5 閉架書庫

中央図書館の閉架書庫には約80万冊が所蔵！貴重な本が多数あります。

なかでも、A書庫7層には、創立者が若き日から収集した蔵書約7万冊を収めた「池田文庫」があります。

書庫の利用は、「書庫利用講習会」受講で付与される「入庫資格」が必要です。



百万冊以上がここに！

創立者は、「図書館は大学の心臓部である」と語られました。ぜひ図書館を大いに活用してください。

Special

フレイザー図書館

フレイザー図書館は、理工学部棟1階にあります。理工学部以外の学生・一般利用者也利用できます

1990年3月、イギリス・グラスゴー大学のウィリアム・フレイザー学長（当時）が来学し創立者および大学関係者と会いました。世界の大学で最も早い時期に工学部を開設したグラスゴー大学、またフレイザー学長に敬意を表し、翌年4月、創価大学附属図書館の工学部分館として開設した図書館を「フレイザー図書館」と命名（呼称）しました。

図書館のあれこれ。中のヒトが伝えます。

図書館のとある日常

SPACe日本語ライティングセンター
×図書館 Soka Book Wave
「哲学教員が語る『私の一冊』」

2026年1月28日（水）、SPACe日本語ライティングセンターと図書館 Soka Book Wave 共催で、中央図書館1階ラーニング・commonsにて読書イベント「哲学教員が語る『私の一冊』」を開催しました。

哲学専門の本学教員5名が「私の一冊」としておすすめの哲学書を発表し、プレゼンテーションの後は参加者からの活発な質問が飛び交いました。

<参加者の感想>

「どのようなきっかけで哲学に魅せられたかという話も含めて本の話聞くのがとても楽しかったです」

「先生方がとても楽しそうで、それが伝わってきたのがとても楽しかったです」

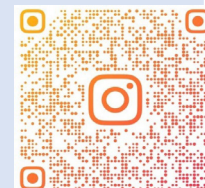


Follow Me!

Instagramあります

SRPではInstagramを随時更新しています！

図書館で行われるイベントの告知やレポート、館長のインタビューやSRPメンバーがおススメする本などを発信しています。



@SOKA_LIBRARY_SRP

PickUp

SRP × 実践女子大学日野キャンパス「ららすた」
コラボレーション企画
「シークレット本『勇気づけられる本』」

SRP × 実践女子大学日野キャンパス「ららすた」コラボレーション企画「シークレット本『勇気づけられる本』」を両大学で展示を行いました。

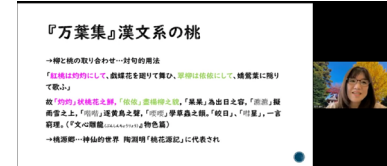
「ららすた」さんは、学生が自主的に企画・活動する図書館学生スタッフとして、実践女子大学の日野・渋谷両キャンパスで活動している団体です。本学 SRP とは昨秋の図書館総合展で交流があり、今回のコラボ企画実現につながりました。



SPACe日本語ライティングセンター
×図書館 Soka Book Wave
「大伴家持の館に咲いた花
～万葉歌とシルクロードの交差点～」

2025年12月23日（火）、Zoomによるオンライン形式で、鈴木道代准教授（学士課程教育機構）を講師に、SPACe日本語ライティングセンター×図書館 Soka Book Wave イベント「大伴家持の館に咲いた花～万葉歌とシルクロードの交差点～」を開催しました。

鈴木准教授は「家持は、越中の風景をそのまま描くのではなく、シルクロードを通じて伝来した自身が持つ高度な漢籍の知識を駆使し、文化的なモチーフを越中の自然に重ね合わせることで表現した」と語りました。



ビブリアバトル

2025年12月17日（水）、中央図書館1階ラーニング・commonsにて、Soka Reading Project (SRP) 主催ビブリアバトルを開催しました。

当日は、5名のバトルヤーがそれぞれのおすすめ本を紹介、熱いバトルを繰り広げました。今回、チャンプ本には、本学文学部4年・清水正行さんが紹介した『星を継ぐもの』（ジェイムズ・P・ホーガン著）が選ばれました。



最近の企画展示

2026.1

いつだっておしゃれ日和 - きょう何着たい？

ファッションに関するさまざまな資料を通して、おしゃれの魅力を紹介しています。自分に似合うスタイルや新しいおしゃれを見つけるきっかけとなる展示となりました。



中央図書館
開館日程です

8:30~21:00

10:00~17:00

9:00~21:00

休館

4

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

新入生の皆さまへ

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。

創価大学図書館は約110万冊の資料を所蔵しており、中には池田文庫や創立者著作コレクションなど貴重な資料も数多く収められています。

またオンラインで利用できる、学習に便利な多種多様のデータベースも取り揃えています。

必要な資料の探し方、データベースの利用の仕方など図書館の利用でお困り際には図書館スタッフへお気軽にご相談ください。

書庫利用講習会のお知らせ

2026年度は5月より「書庫利用講習会」を開催いたします。

中央図書館の書庫を利用する入庫資格を希望される方は、この講習会を受講してください。

一度受講すると、入庫資格は在籍期間中（卒業まで）有効です。

開催日時、申込方法などの詳しい情報は、学内ポータルサイト、図書館ウェブサイトなどでお知らせいたします。